# 児童発達支援自己評価の集計結果（公表用）

公表用

公表：令和6年3月18日　　回収数 48　　事業所名 日進市子ども発達支援センターすくすく園

| | | チェック項目 | はい | | いいえ | | 無回答 | | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 39 | 81.3% | 9 | 18.8% | 0 | 0.0% | 限られた空間を効果的に使うために、使用しない机などは片付け、スペースを広く使えるようにし、事故につながらないように努めています。<br>さらに来年度は一部クラスで定員を減らし、より一層の安全を確保できるよう努めていきます。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 33 | 68.8% | 15 | 31.3% | 0 | 0.0% | 今年度は指定管理の人員配置基準以上のサポート体制がとれました。そのうえでさらに、子どもが欠席した等で人員に余裕が生じた時は、支援が必要なお子さんが多い他クラスに、職員をより多く配置するなどし、お子さんの状況に応じて、手厚い支援ができる体制を確保しています。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 43 | 89.6% | 2 | 4.2% | 3 | 6.3% | 肢体不自由児がトイレや手洗いを使用する際に、届きづらい場合は、ステップ台や補助具等を使って対応しています。<br>各クラスで緊急を要する事案が発生した場合はナースコールを押し、看護師を速やかに呼び出して対応できるようにしています。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 40 | 83.3% | 5 | 10.4% | 3 | 6.3% | 定期的に清掃し、清潔保持に努めています。<br>クールダウンや視覚支援、適切な行動化を援助するために、パーテーションを適宜使用し、子どもが活動に取り組みやすいように支援しています。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPCDAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 32 | 66.7% | 12 | 25.0% | 4 | 8.3% | 職員会議で提案し、よりよい業務が行えるよう検証しています。今後は会議にて決まったことは、担任からパート保育士に情報提供することを徹底し、どの職員も業務改善に参画できるようにしていきます。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 38 | 79.2% | 7 | 14.6% | 3 | 6.3% | 毎年必ず保護者評価を実施し、その結果をもとに職員会議で検討し、改善を図っています。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 35 | 72.9% | 8 | 16.7% | 5 | 10.4% | 毎年必ず保護者評価ならびに自己評価を実施し、その結果をもとに職員会議で検討し、改善を図っています。また、その内容をホームページで公開しています。 |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 25 | 52.1% | 13 | 27.1% | 10 | 20.8% | 第三者評価は受けていません。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 44 | 91.7% | 0 | 0.0% | 4 | 8.3% | 保育士以外の各専門職（OT、ST等）が、毎年各一回、全保育士向けに社内研修を行っています。<br>また、各職種の職員がそれぞれに必要な外部研修を積極的に受講しています。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 44 | 91.7% | 1 | 2.1% | 3 | 6.3% | 児童発達支援管理責任者と各担任が共同して個別支援計画を作成しています。さらに、各専門職がそれぞれ専門的に評価したうえで、特別支援計画を作成しています。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 29 | 60.4% | 16 | 33.3% | 3 | 6.3% | とくに使用はしていません。<br>各種評価法については、必要に応じて、知識として各専門職より保育士に紹介しています。 |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 44 | 91.7% | 1 | 2.1% | 3 | 6.3% | 設定されています。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 45 | 93.8% | 0 | 0.0% | 3 | 6.3% | 個別の支援計画にのっとって支援を行っています。 |
| 適切な支援の提供 | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 40 | 83.3% | 8 | 16.7% | 0 | 0.0% | クラス会議等において、パート保育士を含めたクラス担任同士でよく話し合い、プログラムの立案をしています。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 47 | 97.9% | 1 | 2.1% | 0 | 0.0% | 子どもの状態を見て、必要に応じたプログラムを取り入れるよう、専門職にも相談しながら決めています。 |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動や集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか | 43 | 89.6% | 1 | 2.1% | 4 | 8.3% | 専門職にも相談しながら作成しています。 |
| | ⑰ | 支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 44 | 91.7% | 4 | 8.3% | 0 | 0.0% | 前日に準備をしたうえで、当日にクラスの担当者同士で打合せし、留意点についてもよく確認し合ってから支援を開始しています。 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 45 | 93.8% | 3 | 6.3% | 0 | 0.0% | 時には時間が短いこともあるが必ず話し合っています。<br>時間が足らなかった場合は、クラスノートに書いて情報を共有しています。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 48 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | クラス職員同士で振り返りながら記録をとり、次に生かせるように丁寧に話し合っています。 |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 44 | 91.7% | 1 | 2.1% | 3 | 6.3% | クラス会議を月1回必ず行っています。<br>半年以内に必ず支援計画を見直すために、専門職にも意見を求めながら見直ししています。 |
| | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 39 | 81.3% | 3 | 6.3% | 6 | 12.5% | 医療的ケア児については看護師が参加しています。<br>担任の参加は相談員からの依頼があった場合に限られますが、会議前のモニタリングでは、相談員に対し、担任から状況を説明しています。 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 43 | 89.6% | 1 | 2.1% | 4 | 8.3% | 市の保健センターや、子育て支援課等、連携しながら支援しています。 |
| | ㉓ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 39 | 81.3% | 2 | 4.2% | 7 | 14.6% | 今は左記に該当する子どもは在籍していませんが、もしそのような場合は、地域の関係機関と連携して支援を行っています。 |
| | ㉔ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 35 | 72.9% | 6 | 12.5% | 7 | 14.6% | 上記同様<br><br>相談員とも連携しながら、必要に応じて主治医とも連絡を取るようにしています。 |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 42 | 87.5% | 2 | 4.2% | 4 | 8.3% | 公立の保育園は計画的に順次担当者が来園されますし、一部の民間幼稚園からも担当者が来園され、担当児の様子を見学していただくことで情報共有を図っています。<br>今後は、弊園の担任も、これまで以上に担当児の並行通園先に見学に行くようにします。 |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 43 | 89.6% | 1 | 2.1% | 4 | 8.3% | サポートブックを使って保護者と学校が情報共有できるよう支援しています。<br>子ども部会に管理職が参画し、その内容を情報共有しています。<br>学校教育課と密接に連携しています。 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか | 31 | 64.6% | 11 | 22.9% | 6 | 12.5% | 近隣市町との交流を目的とした「六市一町親子通園施設交流会」に定期的に参加し、情報交換、意見交換等しています。<br>発達障害者支援センター事業の「事例検討」を活用し、年に1回、困難事例のスーパーバイズを受けています。 |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 28 | 58.3% | 14 | 29.2% | 6 | 12.5% | 弊園のイベントで作った迷路コーナーに、イベント後、近辺の保育園の年長クラスが遊びに来てくれたが、当園児との交流までは行えなかった。次回は交流できると良い。 |
| | ㉙ | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 39 | 81.3% | 4 | 8.3% | 5 | 10.4% | 園長等の管理職が参加しています。 |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 44 | 91.7% | 0 | 0.0% | 4 | 8.3% | 毎日必ずその日の状況についてお伝えし、必要に応じて課題に対する助言をしたり、認識の共有を図っています。 |
| | ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレ ーニング等）の支援を行っているか | 44 | 91.7% | 0 | 0.0% | 4 | 8.3% | ペアレントプログラム、ペアレントトレーニングは定期的に実施しています。また、保護者向け学習会も複数回開催しています。<br>保護者の相談の場も複数設け、いつでも気軽に相談を受けられる体制をとっています。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉜ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 43 | 89.6% | 1 | 2.1% | 4 | 8.3% | 入園時には、必ず重要事項説明書を用いて丁寧に説明をしています。また、変更等あれば、その都度保護者に書面等で説明しています。 |
| | ㉝ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 44 | 91.7% | 1 | 2.1% | 3 | 6.3% | インフォームドコンセントをしっかり行っています。 |
| | ㉞ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 44 | 91.7% | 1 | 2.1% | 3 | 6.3% | クラス懇談等、定期的に相談に応じる機会を設けています。 |
| | ㉟ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 36 | 75.0% | 9 | 18.8% | 3 | 6.3% | 保護者の交流を目的とした「談話会」を、月に1回実施しています。<br>「卒園児と在園児の交流会」「クラス交流会」などを年に数回催し、保護者同士の交流・連携を積極的に支援しています。<br>卒園児保護者による自主運営の会が主催したイベントに、在園児保護者も参加できるように情報提供しています。 |
| | ㊱ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 45 | 93.8% | 0 | 0.0% | 3 | 6.3% | これからも「いいえ」の回答0%を維持できるよう、努めていきます。 |
| | ㊲ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 43 | 89.6% | 1 | 2.1% | 4 | 8.3% | 毎月園だよりを発行しています。また、メール配信で情報を発信しています。 |
| | ㊳ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 48 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 今後とも個人情報の保護に留意した書類の取り扱いや保管を徹底していきます。 |
| | ㊴ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 45 | 93.8% | 0 | 0.0% | 3 | 6.3% | 個別に対応しています。今後も必要に応じて配慮していきます。 |
| | ㊵ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 23 | 47.9% | 20 | 41.7% | 5 | 10.4% | 感染症予防の面から、今年も行えませんでしたが、少しづつコロナ前の運営に戻りつつあるので、今後は考えていきます。 |
| 非常時等の対応 | ㊶ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 43 | 89.6% | 0 | 0.0% | 5 | 10.4% | 不審者訓練や感染症対応の研修を定期的に実施しています。<br>また、すくすく園の運営法人である日進市社会福祉協議会が災害時等の対応マニュアルを定めているため、今後はそれをより周知していきます。 |
| | ㊷ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 44 | 91.7% | 0 | 0.0% | 4 | 8.3% | 毎月行っています。 |
| | ㊸ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 43 | 89.6% | 2 | 4.2% | 3 | 6.3% | 入園児に看護師を中心に確認しています。登園時には、担任と看護師で体調確認をしています。 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | ㊹ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 41 | 85.4% | 1 | 2.1% | 6 | 12.5% | 指示書のみならず、保護者と密に話し合い対応しています。また、関係職員に食物アレルギー児について情報共有し、事故防止に努めています。 |
| | ㊺ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 42 | 87.5% | 0 | 0.0% | 6 | 12.5% | ヒヤリハットがあった場合、速やかに毎日の朝礼の中で口頭報告しています。そのうえで、さらに報告書を書き、それをパート保育士も含めて回覧・サインし、情報共有に努めています。 |
| | ㊻ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 43 | 89.6% | 0 | 0.0% | 5 | 10.4% | 内部研修のみならず、外部の研修にも積極的に参加し、参加者からの伝達研修を行うこととしています。 |
| | ㊼ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 35 | 72.9% | 8 | 16.7% | 5 | 10.4% | 対応を工夫することで、身体拘束を行う必要が無いように努めています。<br>それでもやむを得ず身体拘束をせざるを得ない場合、個別の支援計画に明記し、身体拘束の3要件を厳守して対応することとしています。 |